

結 果 の 要 約

1 高知県の15歳以上人口693,742人の労働力状態をみると、労働力人口(就業者及び完全失業者)は402,232人で、前回調査の平成12年に比べ13,664人、3.3%減少している。男女別にみると、男性は219,974人、女性は182,258人で、平成12年に比べ男性は3.9%、女性は2.6%それぞれ減少している。

労働力率()は59.3%で、平成12年に比べ0.9ポイント低下している。また、男性の労働力率は70.4%、女性の労働力率は49.8%で、平成12年に比べ男性は1.3ポイント、女性は0.6ポイントそれぞれ低下している。

()15歳以上人口に占める労働力人口の割合。労働力状態「不詳」を除く。

2 就業者数は370,395人で、平成12年に比べ23,425人、5.9%減少している。男女別にみると、男性は198,932人、女性は171,463人で、平成12年に比べ男性は7.5%、女性は4.1%それぞれ減少している。また、65歳以上の就業者数は44,853人(就業者数の12.1%)で、平成12年に比べ1.0%増加している。

3 就業者数を従業上の地位別にみると、雇用者(「役員」を含む。)は278,804人(就業者数の75.3%)、自営業主(「家庭内職者」を含む。)は59,924人(同16.2%)、家族従業者は31,637人(同8.5%)となっている。これを平成12年の割合と比べると、雇用者は0.1ポイント上昇、自営業主は0.1ポイント上昇、家族従業者は0.2ポイント低下している。

4 就業者数を産業大分類別にみると、「卸売・小売業」が67,738人(就業者数の18.3%)と最も多く、次いで「医療、福祉」が46,822人(同12.6%)、「サービス業(他に分類されないもの)」が41,986人(同11.3%)、「農業」が39,766人(同10.7%)、「建設業」が38,073人(同10.3%)などとなっている。

5 就業者の平均週間就業時間は41.0時間で、従業上の地位別にみると、雇用者のうち常雇と臨時雇は、それぞれ42.9時間、30.0時間、役員は43.5時間、雇人のある業主は47.8時間、雇人のない業主は40.4時間となっている。

6 夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である世帯は87,467世帯(夫婦のいる一般世帯179,958世帯の48.6%)で、平成12年に比べ6,866世帯、7.3%減少している。さらに、子供がいて夫と妻ともに就業者である世帯は58,681世帯(同32.6%)で、平成12年に比べ5,651世帯、8.8%減少している。

7 県内に在住する外国人就業者数は1,705人で、平成12年に比べ257人、17.7%増加している。

図1 高知県の労働力人口の年齢構成（平成12年，17年）

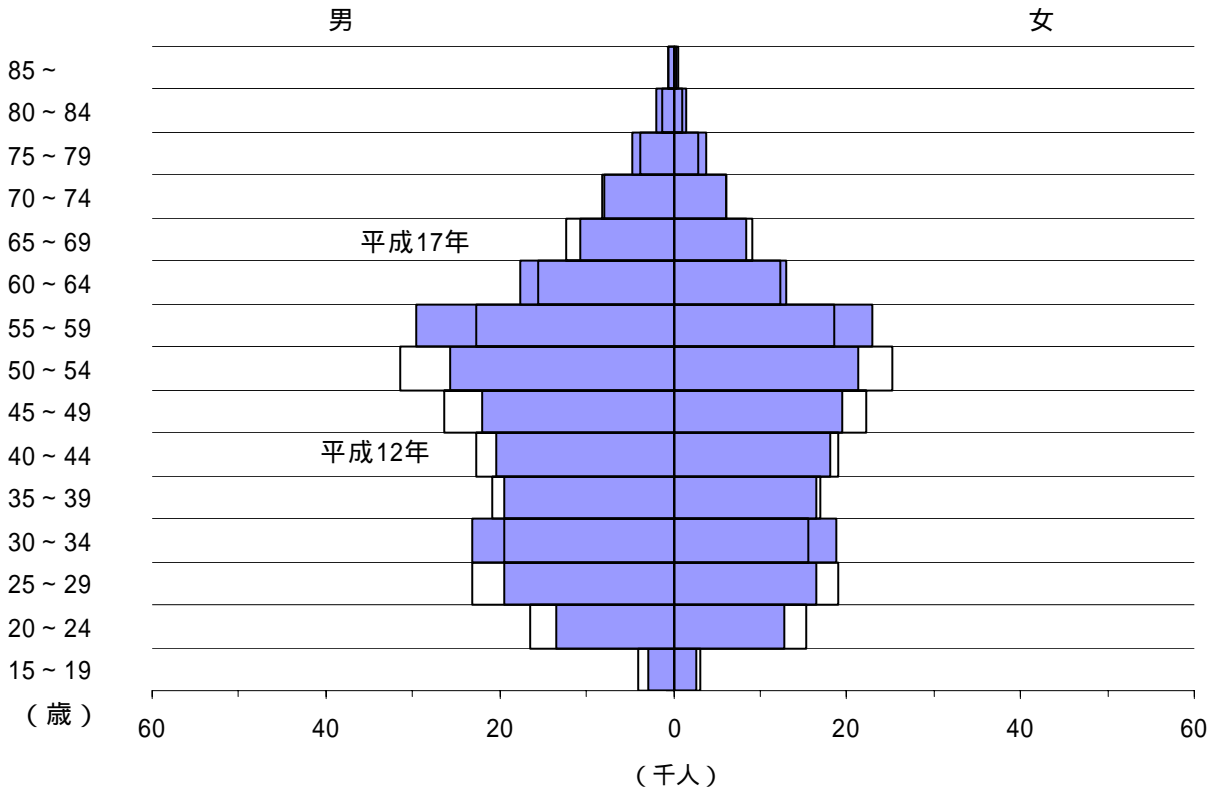
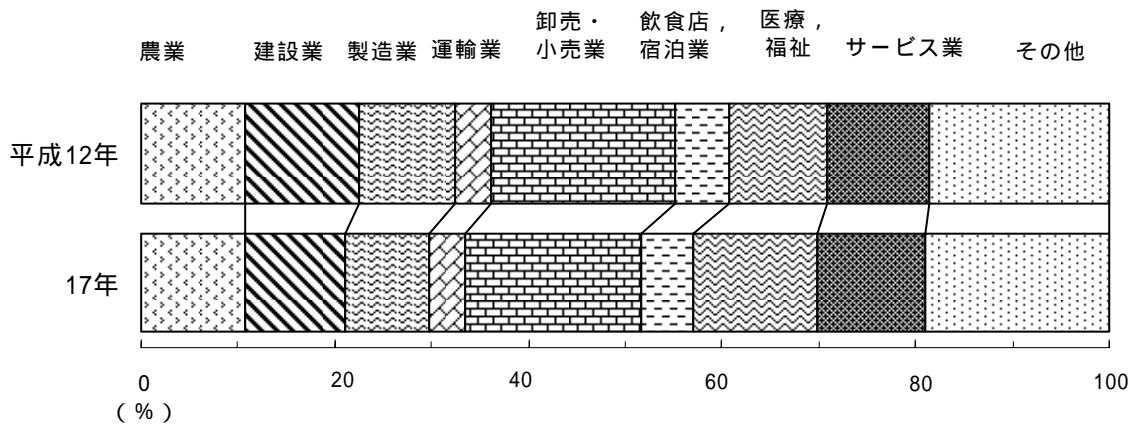


図2 高知県の産業（大分類）別15歳以上就業者の割合の推移（平成12年，17年）



(注1) 「その他」に含まれるのは、「林業」、「漁業」、「鉱業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「金融・保険業」、「不動産業」、「教育、学習支援業」、「複合サービス事業」、「公務（他に分類されないもの）」及び「分類不能の産業」である。

(注2) 平成12年は、日本標準産業分類第11回改訂(平成14年3月)に伴う組替集計結果による。